

～ふくいと世界をつなぐ情報誌～

交流ふくい

The Magazine of Fukui International Association



マダガスカルの子供たちと

特集

私らしく生きる

国際交流・協力を通して“やってみたい”を実現しよう！

こんにちは国際交流員です！

もし私が日本の〇〇だったら…

国際交流しよう！

南越前町国際交流協会 合併して新しく生まれ変わりました！

海外からのAIRMAIL

キルギス共和国 母語を大事にしていますか？



Vol. 56
2007.3



財団法人 福井県国際交流協会

私らしく生きる

～国際交流・協力を通して“やってみたい”を実現しよう～

新しいことを始めたくなるこの季節。

やりたいことはあるのだけれど、どうしようかなと迷っているうちにタイミングを逃して、これまでいろいろなことを諦めてきませんでしたか？今回は、国際交流・協力を通して、その“やってみたい”という思いを実現している福井人を紹介します。何かを始めるのに、時期や年齢は関係ないようです。あなたも、本当にやりたいことは何か、今一度自分自身を見つめ直してみませんか！

「バティックを学ぶため、インドネシアへ」 加藤すみ子さん（ろうけつ染画家、あわら市在住）

今、古民家を移築しての“葉室”（金津創作の森）にて、ろうけつ染画を楽しんでいます。

インドネシアで“バティック”（ジャワ更紗）に惹かれて以来、多くの出会いがあり、充実した時間を過ごすことができました。その後も定期的にジャワ島へ行き、いろいろな職人に手伝ってもらいながら作品を制作しています。それらは、心から強く望み、恵まれた出会いに感謝して良い関係を大切に、誠意を尽くすことから始まったと思います。そして今もその人々との親交は続いています。

今秋、ジョクジャカルタで、帰国後初めてとなる個展の開催を決めました。それは今年100歳になる元日本兵の方へのお祝いと今までお世話になった方々へのお礼の気持ちを込めて、作品を観ていただきたいと思ったからです。

素晴らしいジャワ文化の紹介や、小学校同士の交流の手伝い等、私にできることを今後も楽しくやっていきたいと思っています。



今年100歳になる元日本兵の田中氏と一緒に
（右が加藤さん）

プロフィール

1960年に福井大学を卒業し教職に就く。1993年に職を辞しインドネシアに渡る。ジョクジャカルタの総合美術大学に入り、街の工房でもバティック修業を3年。1999年からあわら市の「金津創作の森」に入居。



王族の血統を引く彼女は70歳を過ぎた今も毎日正装してバティックを描き続けている。

Q. 現在の活動を始めるきっかけは？

以前「国際女性の翼」でインドネシアを訪れた時、ジャワ更紗の職人たちの仕事を見て感動。私もジャワで学びたいと思いました。

Q. 実現するためにどのような努力をされましたか？

それまでの仕事をどのようにして辞すか、留学にむけての準備（手続き、経済面、家庭面、健康面、語学力等）を計画的に進めました。

Q. 活動を通して学んだことを教えてください。

“人は皆同じ、尊敬し合い、互いに良い関係を！”
土地柄、習慣の違いはありますが、それを理解し、認め合うことで、良い関わりが持てるのだと強く思うようになりました。



学内で個展の時、学生たちに囲まれて



小学校訪問

「中国へ語学留学」

吉田哲郎さん（中国大連交通大学留学生、中国在住）

一昨年、昨年に続き、この2月から中国の大連に3度目の留学をしています。選択定年で勤めをやめ、これから何をしようという時、私は迷わず語学留学を選びました。本格的に中国語を学びたいと思ったからです。そこで、インターネットで探したり、先輩に相談したりして、留学先を決めました。

中国の大学のほとんどは、外国人に開放され、老人保養所まであります。優秀な先生のもと、授業は能力に合わせて班分けされ、効率的に学習できるようになっています。寮が用意され、学習や不慣れな生活へのアドバイスもバッチリです。学費は1年に20万、生活費は1か月5万円位で、中国国内の旅行費用は日本の2分の1から3分の1です。

心と体が健康で、海外雄飛を考えている団塊世代の皆さん、中国への語学留学はいかがですか！



プロフィール

2005年3月福井県経済農協連退職。現在、鯖江市国際交流協会会員・学び舎委員会所属。



大学の中国語弁論大会で

Q. 留学を決めたきっかけは？

若い時に旅行をした折、中国人同士の会話が全く解らず、またその独特な柔らかい口調に惹かれ、いつか機会があれば学びたいと思っていました。

Q. 実現するためにどのような努力をされましたか？

19年前、越前市（当時武生市）婦人の家で、初めて中国語講座が開催され、早速参加しました。以来、越前市、鯖江市、福井市、県立大学の市民講座、公開講座等に参加し、勉強を続けました。現在は、仲間と一緒に「レッサーバンダ会」という自主講座を作り勉強しています。

Q. どのような出会いがありましたか？

普通では出会えないような、素晴らしい先生方から学ぶ機会を得ました。また、私の紹介で3組の国際結婚がまとまり、かわいいチビちゃんの成長を見るたびに、いつまでも幸福にと願っています。

Q. 活動を通して学んだことを教えてください。

外国語を学ぶということは単に言葉を学ぶということではなく、その国の生活、文化、歴史を学ぶことを通して、その国の人々の考え方を学び、理解する心を養うことだと思います。

Q. 今後、チャレンジしたいことはありますか？

留学を終え、一段落したら、日中の懸け橋となるべく、日本語学校の先生がボランティア活動にさらに力をいれたいと思います。



大学の恩師宅訪問（クラスメートと）



海南島旅行

「フィジーで技術指導」

奥村彰二さん（JICAシニアボランティア、フィジー在住）

フィジー気象局において、主に情報システムおよびネットワークの構築・管理保守に対する技術指導・助言を行っています。

Q. 現在の活動を始めるきっかけは？

国際協力に関心があり、JICAのシニアボランティア（下記参照）の募集案件を見て、これまでの経験および知識を十分生かせる分野と思ったからです。

Q. 活動を通して学んだことを教えてください。

歴史や文化的背景の違いがあっても、温かい心で接することで、仲良くおつきあいができるということを体験しました。

技術的な面では、新しいものを取り入れ続けなければ、人に教えることはできません。その意味で結局は自分がいちばん学んだことになります。

Q. 今後、チャレンジしたいことはありますか？

誰にとっても人生はチャレンジの連続でしょう。私は仕事や趣味の上で毎日チャレンジしているように感じています。国際貢献というのは現地の人から熱い期待が寄せられ、やりがいがありますが、別の新たな機会を見つけられるかどうか分かりません。そういう機会を追い求めることもチャレンジなのかもしれません。



天気予報官とシステム改善について打ち合わせをしているところ



プロフィール

福井大学、京都府立大学などの勤務を経て、2003年3月定年退職後、JICAシニアボランティアとして、ブータン王国、さらに2005年10月よりフィジー諸島共和国で技術指導を行っている。

必ずしも新しいことを始める必要はなく、環境が変わってもこれまで長くやってきたことを継続し、より完成に近づけることができればいいのではないのでしょうか。新たなことをやり始めるのであれば、“その気になれば必ずできる”と思いつむことです。私はソフトウェアの設定や開発をしながら、もうこれは不可能かなと行き詰まったことが何度もありました。しかし、諦めずやっているうちに最後には問題を解決してきました。結局自分の勉強不足に過ぎなかったのかもしれませんが、問題が解決したときは、とても感激していました。



住んでいる町ナンディは島の西にあり、毎日夕焼けが美しい。

シニア海外ボランティアとは？

JICAのボランティア事業は、派遣された国の人々とともに生活し、地域住民と一体になって活動することによりニーズを把握し、自身の能力と経験を生かして、その国の経済的社会的発展に寄与することを目的としています。活動分野は、計画・行政・公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー・商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉など多岐にわたります。福井県からはこれまでに6名の方が派遣されました。そのうち、2名の方が現在活動中です。

事業名	シニア海外ボランティア	日系社会シニア・ボランティア
派遣国	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中近東を対象 派遣対象国：64カ国 派遣実績：56カ国 派遣中の国：53カ国	中南米地域の日系人社会を対象 派遣実績：10カ国 派遣中の国：6カ国
派遣者数	現在派遣中：653名（97名） 累計派遣：2,860名（427名）	現在派遣中：36名（24名） 累計派遣：319名（135名）
福井県の実績	派遣中 2名（1名） 累計 6名（2名）	
募集	一般公募 [年2回春と秋]	一般公募 [年1回秋]
派遣期間	1年間または2年間 [要請による]	2年間
応募資格	年齢40歳～69歳 日本国籍を有し、心身ともに健康であること。 また、相手国政府の要請に応える技術、知識、経験を有していること。	

※（ ）内は女性数 平成19年1月末現在

「福井にしながら、世界の人々と友達になる」 井上恵美子さん（ホームステイ受入ボランティア、福井市在住）

先月はデンマークの青年が我が家にホームステイしました。滞在期間はなんと短い24時間！

以前は何をしてあげようかとあれこれ悩みましたが、近頃はおしゃべりしてからプランを立てます。今回はショートステイでしたし、日本の工芸品を見たいというので、家から近い河和田の漆器屋さんと和紙の里に案内しました。帰りにマーケットに寄り、ここで食べ物の好みを聞き、さりげなく日本食の話をします。（皆さんとても喜びますよ）

これまで、善意通訳、日本語、体操選手権のボランティア等をしてきました。今はこの活動が私と私の家族に合っているようです。今度はどの国の方に出会えるのか今から楽しみです。



中国から来た先生2人と一緒に
（一番右が井上さん）

プロフィール

福井在住31年。特技はすぐに仲良くなれることと楽しい事を見つける事。



ブラジルの友人と浴衣パーティー



オーストラリアの友人や私の若い友人たちと

あなたもボランティアしてみませんか！福井県国際交流協会では、ホームステイ、通訳、日本語教師、留学生協力家庭、協会活動協力者のボランティア登録制度があり、現在約300人の方に登録していただいています。詳細はお問合せください！

Q. 現在の活動を始めるきっかけは？

主人と初めての海外旅行でオーストラリアに行ったとき、ハイドパークで出会ったオージー（オーストラリア人）が本当に親切な方で、夏休み中だった三人の子供さんと一緒にシドニーの街を案内してくださいました。そのお返しにとホームステイのボランティア活動等を始めました。

Q. どのような努力をされましたか？

努力という程の事はしていません。ホームステイに来られた方に、のんびり我が家のようにくつろいでもらえるように、家族それぞれができる範囲で受け入れています。

Q. どのような出会いがありましたか？

お互いの言葉が通じず悔しい思いをした韓国の先生、一晩中語り合ったモロッコからの留学生などたくさんのお出会いがありました。それぞれが宝物です。

Q. 活動を通して学んだことを教えてください。

青年たちからは“元気”をもらいました。同じ年頃の方達からは“自分らしく上手に時間を使う事”を教えられました。出会ったすべての人達から、“自分の国を大切にすること”と“皆同じ人間なんだ”ということ学びました。

Q. 今後、チャレンジしたいことはありますか？

オーストラリア一周とホームステイに来られた方々の国を訪ねること。



モロッコから来た留学生と



こんにちは

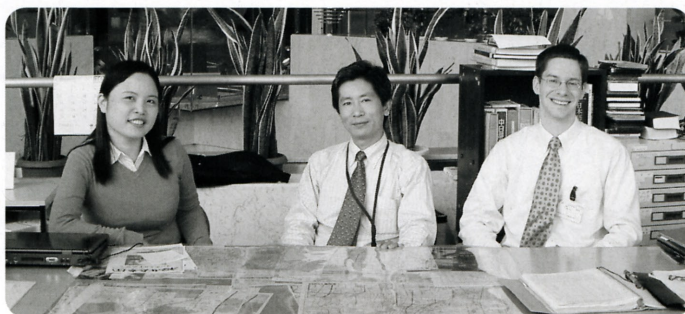


国際交流員です!

テーマ「もし私が日本の〇〇だったら…」

国際交流会館の情報・相談コーナーには
国際交流活動等に従事する国際交流員が配置されています。
みなさん気軽に声をかけてくださいね!

今回は「もし私が日本の〇〇だったら」というテーマで、エッセイを書いてもらいました。



「もし私が日本の“総理大臣” だったら…」

仮に私が日本の総理大臣になったら、いくつかの政策を提案したいと思います。何よりも力を入れたいのは少子化対策です。対策として、まずサービス残業を減らすべきだと思います。ウィリー政権は18時以降、職場に残る人の給料が30分ごとに1万円減給され、会社がその分を政府に税金として納めなければならないという罰金制度を設けます。サービス残業をすればするほど、損するとなると、従業員がみな時間通りに帰宅するようになるに違いありません。時間に余裕ができると、未婚者には出会いの機会が増え、既婚者には家族と一緒に過ごす時間が増えます。そうすれば、出生率も上昇するはずなのです。

職場に関してはもう一つの新しい法案を提出したいと思います。日本と違って、多くの国では年に4~5週間休むのが普通です。しかし日本では20日間の有給休暇があっても、ほとんどの人は20日間どころか、その半数さえ取らないのが現状です。そこで、「有給休暇利用促進法」を作ります。この法律によって、従業員のすべてが完全に有給休暇を取る会社に、政府が補助金を出すという制度が制定されます。補助金は上述の残業罰金制度から徴収したお金を使って払うようにすれば、政府は赤字に陥らずに実施できるでしょう。

最後の政策は、余計なカタカナの撤廃です。「コンピュータ」など、そもそも日本語になかった単語を正確に使うのは構いませんが、紛らわしい英語っぽい表現を適当に使うのは困ります。例えば、「サービス残業」。実は「サービス残業」は英語で「unpaid overtime」、つまり「無報酬残業」と言います。日本語でも「サービス残業」の呼び方を「無報酬残業」に切り替えたら、残業が減るのではないのでしょうか。

以上、ウィリー政権の基本政策をお伝えしました。少子化や残業問題などに対して、本当の日本政府にも強固な政策を考え出してもらいたいものです。



ベンジャミン ウィリー
Benjamin Willey
アメリカニュージャージー州出身
(勤務日: 火・水・木曜日)

「もし私が日本の“お父さん”だったら…」

日本に来る前、私は10年間観光ガイドの仕事をしてきました。案内した日本人客の8割以上がお年寄りでしたが、ハーハー言いながらがんばって団体についていくお年寄りの姿を見て、ずっと疑問に思っていたことがあります。「なぜ日本人は若いうちに旅に出られないのだろうか？」ということです。

日本に来て理由が分かりました。出社が早い。仕事がつい。残業が多い。帰宅が遅い。そして、住宅や車など様々なローンに追い立てられ、牛のように働き、ようやく全てのローンを払い終えたと思ったら、既にお年寄りになっていたというのが、日本のお父さん達の実態像なのです。家族の幸せのためによく働くということは、世界共通の親の宿命ともいえますが、特に日本のお父さんは働きすぎなのではないかと思います。

私が日本のお父さんだったら、生活と仕事を全般的にリフレッシュしたいと思います。まず仕事のやり方を工夫して、能率アップし、やるべき業務をさっさと片付けて、早く家に帰り、家族と一緒にいる時間を作ります。もちろん、自分の趣味も満喫し、若いうちから年に一回ぐらいは家族

を連れて旅行もしたいと思います。仕事はもちろん大事ですが、人生のすべてではないでしょう。仕事をしながらも、家族との時間を大切に、自分の趣味を持つように心がければ、さらに充実した人生を送ることができると思います。今からでも、遅くはありません。仕事以外のことに目も向けてください。年を取ってハーハー言いながら万里の長城を登るよりは、若いうちに元気よく登るほうが快適に違いないのですから。

「それは夢にすぎない」とは言わないでくださいね、日本のお父さん達！



オーヤン シーウェン
歐陽 詩文
中国浙江省出身
(勤務日：木・金曜日)

「もし私が日本の“犬”だったら…」

私はゴールデンリトリバーの“モモ”といいます。私は人間の言葉が分かります。もちろん、話せませんが…。私は特殊教育を受けるため学校に通っています。そこには視覚障害者、聴覚障害者、肢体障害者、お年寄りの手助けをするプログラム等がありました。体の不自由な人は家に一人である場合が多いので、寂しさを感じているという事実も分かりました。クラスは違いましたが、友達のチョコ、マロンたちと楽しい学校生活を送りました。

卒業してから、私は日本の佐藤さんの家で暮らすことになりました。御主人である桃子ちゃんは脳性麻痺の上に言語障害があって、車椅子に乗っています。初め佐藤さん一家は私と一緒に暮らすことには反対でした。お父さんは、桃子ちゃんは体が悪いのに犬を育てることができるわけがないということです。ですが、お姉さんとお兄さんが頼んでくれて、一緒に住むことができるようになりました。私は車椅子を引いたり、新聞やテレビのリモコンを持ってきたり、戸を開けたり閉めたり、様々な手伝いをします。私たちはすぐ仲良くなりました。家の中でも外出する時もいつ

も一緒です。

うつ病の治療をしている御主人と一緒にいるチョコの話を聞いていると人間はとても辛そうです。特に日本人は礼儀正しく暮らすように教育を受けているので、腹が立っても我慢しなくてはならないそうです。相手に迷惑がかかるかと心配で、思っていることも言えないようです。それでストレスがたまって苦しいそうです。

私は桃子ちゃんがとても好きで、彼女も私を大事にしてくれます。桃子ちゃんが楽しく幸せになるように、ずっと話し相手になりたいと思います。心が通う永遠の友達になりたいです。



キム ソンビ
金 善熙
韓国仁川出身、海外自治体研修員
(勤務日：月～金曜日)

南越前町国際交流協会

南越前町国際交流協会は、南条郡三町村の合併を機に2005年5月に設立されました。設立から約2年、まだまだ手探り状態での活動ですが、今後はもっと町内在住の外国人の方々との交流に重点を置き、国際交流・国際協力を身近に感じられるような協会にしたいと張り切っています。

設立：2005年5月28日

代表：会長 山本 優

会員数：個人（ファミリー）会員 56名

☆当会活動に参加するには☆

当協会の目的に賛同し、原則として南越前町内に在住しているか、または勤務している個人・家族・法人が対象。

年会費は、個人・ファミリー1口2,000円、団体1口10,000円。

問い合わせ先：南越前町教育委員会事務局

（担当）三原順子さん

電話：0778-47-8005

FAX：0778-47-7010



2005年11月23日

中国の日本語教師との交流会（そば打ち体験）



2006年5月29日
今庄そばまつり模擬店出店



2007年3月11日
南越前町国際交流フェスティバル

これまでの活動を振り返ると、2005年7月の南条リバーフェスティバルにおいて、初めて中国の方たちと水餃子を作って模擬店を出店。そのときの楽しさが忘れられず、2006年5月に開催された今庄そばまつりにおいても、「南越前町国際交流協会」の看板を掲げて水餃子の模擬店を出店し、当日は中国の方に餃子作りの実演をしてもらい、大変好評を得ました。

また2005年11月には、JICAの青年招へい事業により来福した中国の日本語教師グループとの交流会を開催しました。一緒にそば打ち体験をし、また郷土料理を並べた親睦会の後に町内の青年との意見交換会を開催しました。政治・経済から生活に関するさまざまな質問や意見が飛び交い、大変有意義なものとなりました。

そして2007年3月、第1回目の南越前町国際交流フェスティバルを開催。当日は、町内在住の外国人の方々もスタッフとして加わり、各国の伝統文化や伝承遊びの紹介、また簡単な外国語講座などのコーナーを設け、文化交流を行いました。このフェスティバルを今後の活動の柱として続けていけたらと考えています。

表紙 マダガスカルの子供たちと

子供たちと一緒にソーラン節を踊った後に撮った写真です。このときは、青年海外協力隊員たちがミアンドリパーツという町に集まって、KOBARA（クバーラ）というマダガスカルの伝統的な遊びから作ったスポーツの大会を行いました。その時に、日本文化紹介としてソーラン節を子供たちと踊りました。湿度

が高く、とても暑い日でしたが、みんな半被^{はっぴ}とはちまきをして汗だくになりながら一生懸命に踊ってくれてうれしかったです。

写真提供 川崎武彦さん

（南越前町出身）

現在は青年海外協力隊として野菜栽培の技術を指導中



表紙写真大募集!

国際交流の様子や海外で撮影した写真はありますか？あなたの写真が表紙になります。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、写真にまつわる簡単なエピソードを添えて送ってください。とっておきの1枚を待っています！

JICAボランティア 平成19年度春募集

募集期間 平成19年4月10日(火)～5月25日(金)

4月7日(土)	シニア	10:30～12:30	ユー・アイふくい 【学習室101】
	青年	14:00～16:00	
4月17日(火)	青年	18:30～20:30	福井県国際交流会館【第3会議室】
4月26日(木)	青年	18:30～20:30	福井県国際交流会館【第3会議室】

※シニア(40～69歳対象) 青年(20～39歳対象)

上記日程で「体験談&説明会」を実施します。

JICAボランティアの活動について、直接経験者から聞くことのできる機会です。ぜひご来場ください。

● 応募に関する問い合わせと相談窓口 ●

【JICA 北陸】

TEL 076-233-5931 または

【JICA 福井県国際協力推進員】

TEL 0776-28-8800 ((財) 福井県国際交流協会内)

ボランティアに関する詳細情報はJICAホームページでもご覧になれます。

URL: www.jica.go.jp



Printing
[総合印刷]

Sign
[サイン]

Infinity

アイデアをかたちに——。
未知数の可能性が動きます。

Publishing
[出版]

Creative
[企画・デザイン]



株式会社 エクシード お問い合わせ TEL.0776-51-6382

事業内容 【印刷】／商業印刷、事務用印刷、書籍印刷、証券印刷 【広告代理業務】

【企画制作】／広告企画、販売促進企画、コンテンツ制作など 【出版事業】／季刊誌福楽、

ブライダル情報きらり、自費出版制作など 【サイン事業】／道標、会社・店舗等の看板など

〒919-0482 福井県坂井市春江町中庄61-32 TEL 0776-51-5678(代) FAX 0776-51-3413

■東京営業所 ■三国本店 ■敦賀営業所 ■出版事業部 ■サイン事業部

ホームページ <http://www.exceed.co.jp/>

エキシード出版物



季刊誌「福楽」

福井の自然や文化、郷土料理などをテーマに編集された大人のタウン誌です。



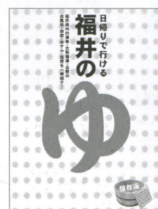
福井のブライダル きらり

福井での結婚に関する情報が、これ一冊で分かる高い支持率を得ている情報誌。



手のひらサイズ りすのす

かわいくて、使える情報満載のフリーペーパーです。毎月発行!



日帰りで行ける 福井のゆ

福井県内の温泉、お風呂がギュッとつままった一冊。

01010101011100010

11001110010101011010010101

010101101011011001011

0100111110000101111100001

010011001010101010110010101010101

想

P E R S O N S
H E A R T

アナログからデジタルまで、

心がかよう

印刷物を創造します。

お客様の心の想いを確かなメッセージへと...

若越印刷株式会社

[URL] <http://www.jakuetsu-print.com>

本社工場

〒914-0037 福井県敦賀市道口63号10-1

TEL. (0770) 22-5600 (代)

FAX. (0770) 23-2288

東京支店

〒140-0001 東京都品川区北品川1-13-10

TEL. (03) 5461-1313

FAX. (03) 5461-1813

福井営業所

〒910-0004 福井市宝永3丁目27-17

TEL. (0776) 22-1155

FAX. (0776) 22-3020



■テント・シート ■インテリア ■イベント企画・設営 ■ユニフォーム・作業用品 ■建築・土木資材



伝統の技、現在と未来をつなげます。

株式会社 キャンピオ辻万

福井市毛矢2丁目3-1 TEL (0776) 35-0605 <http://www.tsujiman.co.jp>



PHOTO

ミヤマ

～創業72年～

- 御家族揃って記念写真
- 写真は我が家の宝物
- 人生の節目に記念写真

〒910-0004 福井市宝永3丁目2-1 (福井県国際交流会館横)
TEL: 0776-22-3048 FAX: 0776-23-5885



彩り、味わい、賑やかに

浪慢館

鯖江市寺中町21-13-1

浪慢館グループ

鯖江 TEL (0778) 65-1981
FAX (0778) 65-0774
ぶちでり TEL (0776) 30-1311
福井高専食堂 TEL (0778) 62-2981

EVENT SCHEDULE

平成19年度4月～7月のイベントスケジュール

(都合により変更になる場合があります)

福井県国際交流会館開催事業

日本語指導ボランティア養成講座

5月～7月

外国人のための無料行政書士相談

4月21日、6月16日

外国人のための無料法律相談

5月19日、7月21日

日本語常設講座

4月～7月

留学生と県民の日帰りバスツアー

6月

留学生と県民の交流会

7月

国際交流嶺南センター開催事業

日本語指導ボランティア養成講座

5月～7月

外国人のための無料法律相談

6月24日

嶺南地域国際交流推進会議

6月

外国語による外国文化紹介講座

6月～7月

ハローワールド参加校募集

～教室の中で世界に触れてみませんか～

県内の小中学校に、地域に住む外国人や国際協力などの経験豊かな海外ボランティアを派遣し、国際理解教育の取り組みをサポートいたします。詳細はお問合せください。



多言語マップが完成しました！

県内に住む外国の方々が、福井県の住民として安心して生活できるように、生活に密着した公的施設や文化・スポーツ施設、災害時の避難所等を掲載した多言語(英語・中国語・ポルトガル語・日本語)の地図を作製しました。ぜひ、御活用ください。



賛助会員を募集しています！

【会費】個人・・・2,000円

団体・・・10,000円

【期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日

【特典】国際交流イベントの御案内の他、ホテル・旅行用品・レストランでの割引などがございます。詳細はお問合せ下さい。

新聞やテレビで、県の情報をキャッチ！

【新聞】「県からのお知らせ」(毎月1日、15日に掲載)

【テレビ番組】「おはようふくい730」(FBC/日曜)

「ほっとふくい」(ftb/1・3土曜)

「まちかど県政」(FBC、ftb/日曜)

【広報誌】「グラフふくい」(毎月10日発行)

※ラジオやインターネットでも提供中。

お問合せ

県広報課

0776-20-0220

福井県国際交流会館

【開館時間】9:00～21:00

情報・相談コーナーは

第2月曜日・水・金・土・日曜日

9:00～18:00

火・木曜日 9:00～20:00

【休館日】国民の休日、12/28～1/4

情報相談コーナーの休業日は、

月曜日(第2月曜日を除く)、国民の

休日、12/29～1/3

〒910-0004 福井市宝永3丁目1番1号 TEL(0776)28-8800 FAX(0776)28-8818

http://www.f-i-a.or.jp/ E-mail:info@f-i-a.or.jp



国際交流嶺南センター

【開所時間】

火・水・金・土曜日 9:30～18:00

木曜日 9:30～20:00

第1・第3日曜日 12:00～18:00

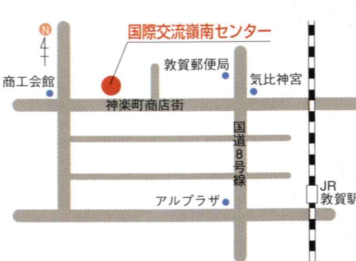
【休所日】

月・日曜日(第1・第3日曜日を除く)、

国民の休日、12/29～1/3

〒914-0063 敦賀市神楽町1丁目4番26号 TEL(0770)21-3455 FAX(0770)21-3441

http://www.hokuriku.ne.jp/reinan/reinancover.htm E-mail:reinan@land.hokuriku.ne.jp



毎週金曜日10:20～10:30、FM福井で当協会の事業案内をしています。

編集後記

はつきりと覚えていませんが、「人間が想像できることは100%実現できる」というキャッチフレーズのCMを見たことがあります。私の両親が幼い頃「あったらいいな」と思っていた炊飯器や洗濯機、私が幼い頃に「あったらいいな」と思っていた携帯電話やインターネットが今では当たり前のように使われています。多くの技術者の熱意と努力によって「人間が想像できることは実現できる」ということが証明されてきました。少し話が大きくなってしまいましたが、今回の特集を読んで、「私には無理かな」と思っている方、そんなことはありません！「想像できることは実現できる」のです。新しいことを始めるのもよし、継続していることを極めるのもよし。なりたいたい自分を思い描きながら、少しずつ前に進んでいきましょう！

交流ふくい ～ふくと世界をつなぐ情報誌～ Vol.56

本冊子は古紙100%を使用しています。

発行日:平成19年3月25日 編集・発行:財福井県国際交流協会 〒910-0004 福井市宝永3丁目1番1号 TEL(0776)28-8800 FAX(0776)28-8818 印刷:株式会社エクシード